

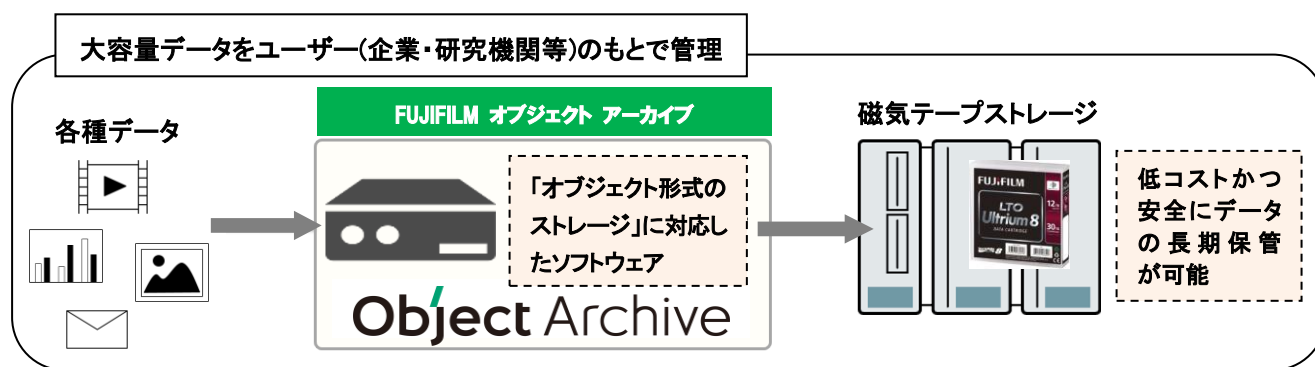
ユーザーのもとで快適にペタバイト※¹ クラスの大容量データを管理できるソフトウェア
「FUJIFILM オブジェクト アーカイブ」
 低コストで安全なデータ長期保管を磁気テープストレージで実現

● **新発売** ●

2020 年 4 月 6 日

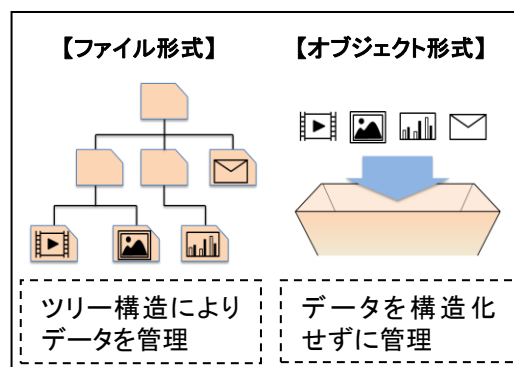
富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、ユーザーのもとで快適にペタバイト※¹ クラスの大容量データを管理できるソフトウェア「FUJIFILM オブジェクト アーカイブ」(以下、「オブジェクト アーカイブ」)を4月6日より発売します。

「オブジェクト アーカイブ」は、データの容量拡張性と検索性に優れる「オブジェクト形式のストレージ」を磁気テープで実現するソフトウェアです。低コストで安全にデータの長期保管を行うことができ、ますます増大するデータストレージ需要に応えます。



昨今、IoT・ICT の進展や AI を用いたビッグデータ解析の普及などにより、世の中のデータ量は爆発的に増加しています。なかでも、生成されてから時間が経ちアクセス頻度が低くなったコールドデータは、全データの8割以上を占めると言われています。近年では、コールドデータをはじめ、蓄積したデータを活用する動きが急速に進んでおり、これらのデータを長期に保管したいというニーズが高まっています。

現在、データの保管は、階層的なツリー構造によりデータを分類して管理する「ファイル形式のストレージ」を用いるのが一般的ですが、「ファイル形式のストレージ」は、データ容量の増加に伴い処理速度が低下するなどの課題があります。一方で、近年クラウドを中心に導入が進んでいる「オブジェクト形式のストレージ」は、データを構造化せずに管理するため、保存できるデータ容量を簡単に拡張可能。また、個々のデータに任意のメタデータ※²を付与することで素早く正確にデータの検索を行えるといった特長も有しており、ワールドワイドで年率約 3 割の市場成長が見込まれています。



今回発売する「オブジェクト アーカイブ」は、データの容量拡張性と検索性に優れる「オブジェクト形式のストレージ」を磁気テープで実現するソフトウェアです。本製品のために磁気テープ記録フォーマット「OTFormat」を新規開発し、磁気テープストレージを用いてペタバイトクラスの大容量データ※³を低コストで長期保管することを可能にしました。さらに、ネットワークから隔離したエアギャップの状態データ保管を行えるため、サイバー攻撃などによるデータ破損・消失のリスクが低く、高い安全性を実現します。また、「オブジェクト形式のストレージ」で幅広く採用されている「S3 互換 API」※⁴を実装しており、磁気テープストレージとハードディスクドライブ(HDD)・ソリッドステートドライブ(SSD)を組み合わせることが可能。アクセス頻度に応じて最適なストレージにデータを保管できます。このほか、クラウドストレージと磁気テープストレージのスムーズな連携もできる

ため、ネットワーク上で共有するデータをクラウドストレージに、機密性の高い大容量コールドデータを磁気テープストレージに保管するなど、データの属性やユーザーニーズに応じてご利用いただけます。

今回、当社は、新たに磁気テープストレージを導入する方だけでなく、すでに磁気テープストレージを導入している方にも「オブジェクト アーカイブ」を提供し、低コストで安全性・利便性に優れたストレージシステムの構築に貢献します。今後も、世界シェア No.1^{※5} のコンピューター用磁気テープメーカーとして、ユーザーのニーズと信頼にお応えする高性能・高品質のメディアやサービスを開発・提供し、世の中の社会課題の解決に取り組んでいきます。

※1 1ペタバイト=1,000,000GB。

※2 データの属性などを表す付帯情報のこと。作成日時・場所、作成者、キーワードなど。

※3 2020年度中にバージョンアップを行い、さらなる容量拡張を可能とするとともに、メタデータ検索を行える機能を追加する予定です。

※4 Amazon 社が提供するクラウドストレージサービス「Amazon S3」とデータ通信を行うためのインターフェース。API は Application Programming Interface の略。「オブジェクト アーカイブ」は、データの読み出し時のみ「S3 Glacier 互換 API」を使用。

※5 生産者シェア。当社調べ。

記

1. 製品名：「FUJIFILM オブジェクト アーカイブ」

2. 発売日：2020年4月6日

3. 価格：オープン

4. 主な特長：

(1) 「オブジェクト形式のストレージ」を磁気テープで実現

- ・新開発の磁気テープ記録フォーマット「OTFormat」を採用。データの容量拡張性と検索性に優れた「オブジェクト形式のストレージ」を、磁気テープストレージを用いて行うことができます。

(2) 低コストで安全なデータ長期保管を実現

- ・優れた TCO^{※6}を実現する磁気テープストレージを用いることで、ペタバイトクラスの大容量データを低コストで長期保管できます。
- ・ネットワークから隔離したエアギャップの状態データを保管できるため、サイバー攻撃やウイルス感染、システム障害などによるデータ破損・消失のリスクが低く、高い安全性を実現します。
- ・加速評価試験において、磁気テープは50年以上安定してデータを保存できる^{※7}ことが確認されています。

※6 Total Cost of Ownership の略。初期費用やメンテナンス費用、消費電力などを含む総コストのこと。

※7 JEITA テープストレージ専門委員会調べ。

(3) HDD・SSD やクラウドストレージとの組み合わせにより最適なストレージシステムを構築可能

- ・「オブジェクト形式のストレージ」で幅広く採用されている「S3 互換 API」を実装しており、磁気テープストレージとHDD・SSDを組み合わせることが可能。アクセス頻度に応じて最適なストレージにデータを保管できます。
- ・クラウドストレージと磁気テープストレージのスムーズな連携を実現。ネットワーク上で共有するデータをクラウドストレージに、研究開発のデータや製品設計に関する情報など機密性の高い大容量コールドデータを磁気テープストレージに保管するなど、データの属性やユーザーニーズに応じてご利用いただけます。

本件に関するお問合せは、下記にお願いいたします。

報道関係 コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-6271-2000

お客様 記録メディア事業部

TEL 03-6271-2081

「FUJIFILM オブジェクト アーカイブ」ウェブサイト

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/data-management/data-archive/object>